

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	魚食普及促進事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
地場産水産物の地産地消及び消費拡大が図られ、食育推進にも寄与しています。		地場産水産物の販路拡大を図るため、湘南ひらつか魚食普及協議会が実施する各種事業を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	魚調理教室・魚食普及イベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	40	42	42	42	
	実績	42	41	40		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	各種イベント参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	18000	19000	19000	19000	
	実績	18000	18000	19600		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
地産地消をより進めるために、漁協が行う事業が国の6次産業化事業に認定され、平塚漁港で水揚げされた魚の販路拡大や新製品の開発が促進されました。また、魚のさばき方教室等による食育の推進や、近隣市のJA直売所、地どれ魚直売会での平塚産水産物の販売を支援し販路を拡大するとともに、学校給食にも地魚を提供しました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地場産水産物に接することにより、地場産水産物への市民の関心が高くなり、地産地消につながることから必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地産地消の推進や魚食の普及により、魚の消費拡大が図られるところから継続して実施することは有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	魚調理教室や各種朝市の開催は、各種水産関係団体が協力・連携して行っているため、各団体の魚食普及という共通目標を達成することから妥当性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	水産関係の各種参加団体が特性を生かして事業に参加しているため効率性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 小中学生の魚離れへの対策や、食育計画と連携した魚食普及の推進をするために、継続的に学校給食へ参入することが必要です。また、消費者ニーズに対応した製品の開発が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		魚調理教室、魚まつり朝市等の開催	魚調理教室、魚まつり朝市等の開催	魚調理教室、魚まつり朝市等の開催	魚調理教室、魚まつり朝市等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	300	300	300	300
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		300	300	300	300
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00	
内訳	職員 (人)	0.68	0.68	0.68	0.66
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	5,511	5,451	5,405	5,157
フルコスト (A+B)		5,811	5,751	5,705	5,457

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 魚調理教室や朝市等の魚食普及イベントの開催を支援することにより、地場産水産物の地産地消及び消費拡大を図ります。
課長コメント 漁業者による地魚直売会や新商品の開発等の取組みと合わせて、既存の朝市や調理講習会等の取組みが進んでいます。今後は、市内水産業界の連携を更に深め、消費者が魚に接する機会を増やしていきます。